

トロフィー3DIシステムで 患者さんの要望に応える



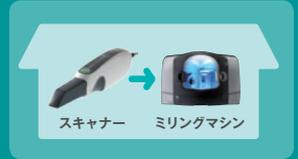
富塚 重幸先生
とみつか歯科医院
院長
福島県郡山市開業



富塚 真一郎先生
とみつか歯科医院
副院長
福島県郡山市開業

B

院内タイプ①

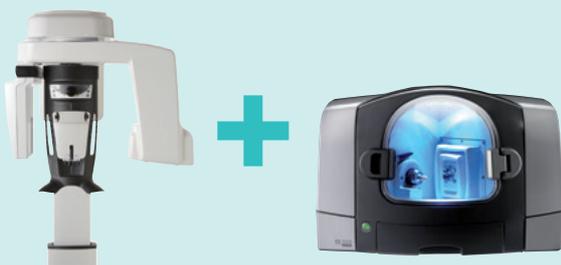


当医院では一昨年から「トロフィーバン スマート オシリス 3D」と「トロフィーカム」を使用しCAD/CAM冠を提供してきました。このシステムはシリコン印象をCTでスキャンし、CAD/CAM冠を製作します。そうすることで石膏模型製作の時間は必要なくなり、それに伴う技術的なエラーもなくなりますので、精度の高いCAD/CAM冠を製作することができます。

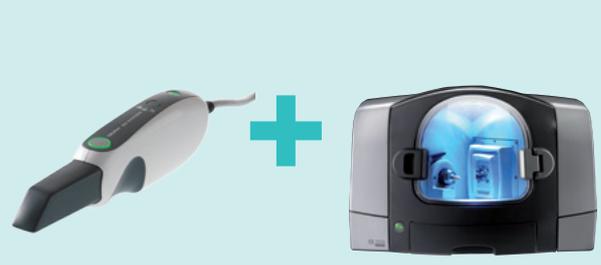
今回さらに口腔内をダイレクトにスキャンする3D光学スキャナー「トロフィー3DIシステム」を導入しました。このシステムは、患者さんの口腔内をカメラで撮影するため、石膏模型の製作に加え、従来の印象採得の工程もなくなりました。そのことで再印象等のエラーもなくなり、よりスピーディーで、精密なCAD/CAM冠の製作が可能になりました(図1)。

[図1]

▶ 印象・石膏模型をスキャン



▶ 口腔内・石膏模型をスキャン



※CAD/CAM冠保険算定の場合、石膏模型をスキャンします。

CAD/CAMシステム導入への不安

当初は導入にあたり「CAD/CAM冠の需要はあるのか?」「操作は難しいか?」そして「補綴物の精度はどの程度?」など不安を感じていました。しかし実際導入してみると、CAD/CAM冠を希望される患者さんは予想以上に多く、操作面も慣れるにつれ、診療の合間に簡単に行えるようになりました(図2)。心配していた精度については、CAD/CAM冠形成ポイントを理解してしまえば、精度の高いCAD/CAM冠を製作できるようになり、現在では当医院になくてはならない機材となりました。

【図2】



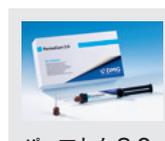
ハイブリッドレジン

支台歯、補綴物の内面処理をし、セメントは『パーマセム2.0』を使用して接着。

セラミックインレー※

トロフィーCAMにて削り出し後、口腔内にてコンタクト、咬合を調整し、同様にセメントは『パーマセム2.0』を使用して接着。

※セラミックブロックはVITABLOCS Mark II shade3M2



パーマセム2.0

CAD/CAM冠・前装冠・メタルボンド・金属製クラウンまで、幅広く対応します。

- 一般名称: 歯科接着用レジンセメント
- 認証番号: 226AKBZX00041000

設計はとても簡単

今後ますますCAD/CAM冠の需要は高まり、診療に占める割合は増えていくと考えています。先ほど操作は慣れてしまえば簡単と述べましたが、院内でCAD/CAM冠を製作する場合、設計はドクターが行います(図3)。現在スキャナーの精度が向上し、マージンラインや形態は自動的にトレースされるた

め、設計はより簡便になってきました。部位を選び、マージンとコンタクトの順で必要に応じ調整します(図4)。現在では症例にもよりますが、およそ5分ほどで設計が行えるため、カルテ記載後のわずかな時間で行えます。

【図3】 CAD/CAM冠製作の流れ



口腔内をスキャン



設計します

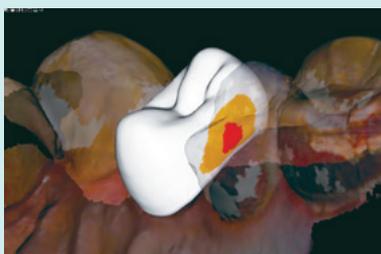


CADブロックをセットします

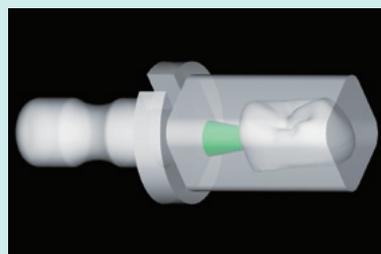
【図4】 設計は簡単2ステップ



マージンを調整します



コンタクトを調整します



設計が完了

患者さんに喜ばれるシステム

院内で全て完結するシステムは当然のことながら、遥かに短い期間で患者さんに提供することができます。そして印象や技工に伴う材料費も大幅に抑えられることで、白い歯を手頃な価格で提供できます。また患者さんにとって印象を採らなくても良いことは大変喜ばれることだともわかりました。

現在、患者さんの3人に1人は自由診療のCAD/CAM冠を選ぶようになってきています。

今後も地域の患者さんに喜ばれ選ばれるよう、新しい技術を導入・提供し続けられるような医院をスタッフと一緒に目指していきたいと思います。